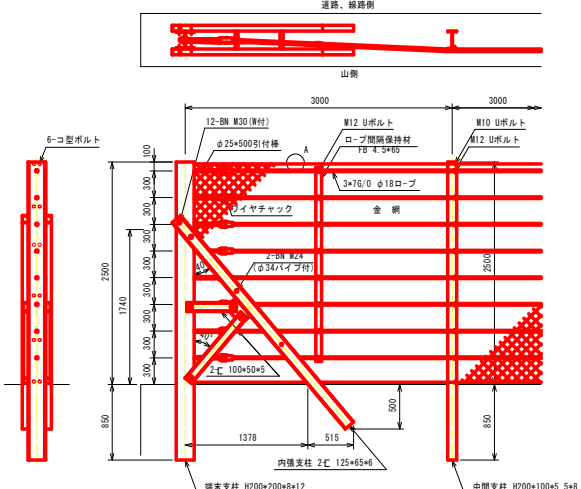
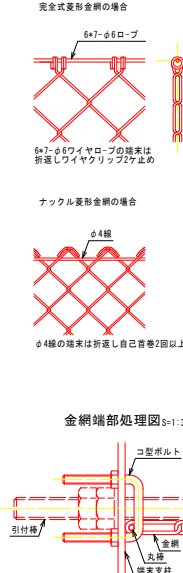


## 落石防護柵 参考図(1)

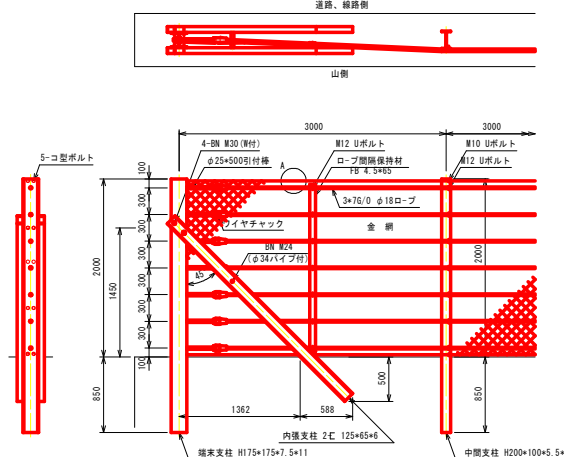
擁壁用ストーンガード H=2500 S=1:30



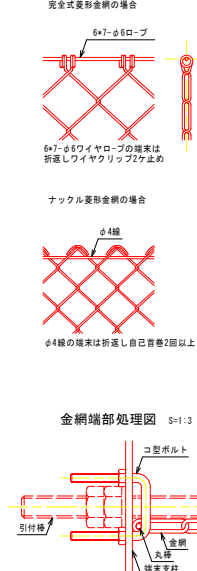
A部詳細図 S=1



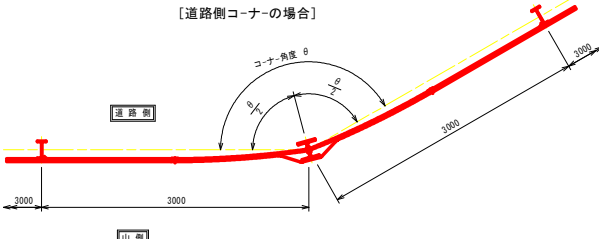
擁壁用ストーンガード H=2000 S=1:3



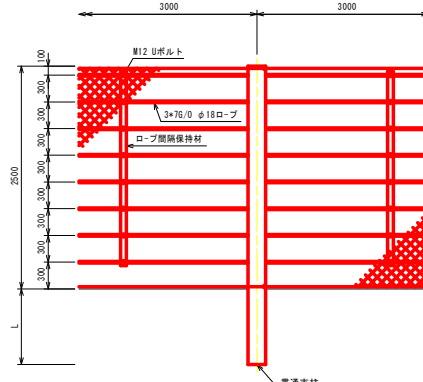
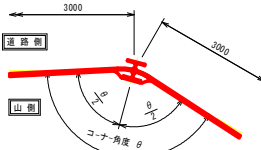
A部詳細図 S=1:5



貫通支柱 H2500 コ-ナ-処理図 S=1:3



〔山側コ-ナ-の場合〕



貫通支柱規格	埋込み長さ L	最小コーナ角度 $\theta$
H175×175×7.5×11	850	159°
H200×200×8×12	850	150°

備考

1. 本図は落石対策便覧（平成29年12月）に基づき算出しております。
2. 結束については「施工要領」による。

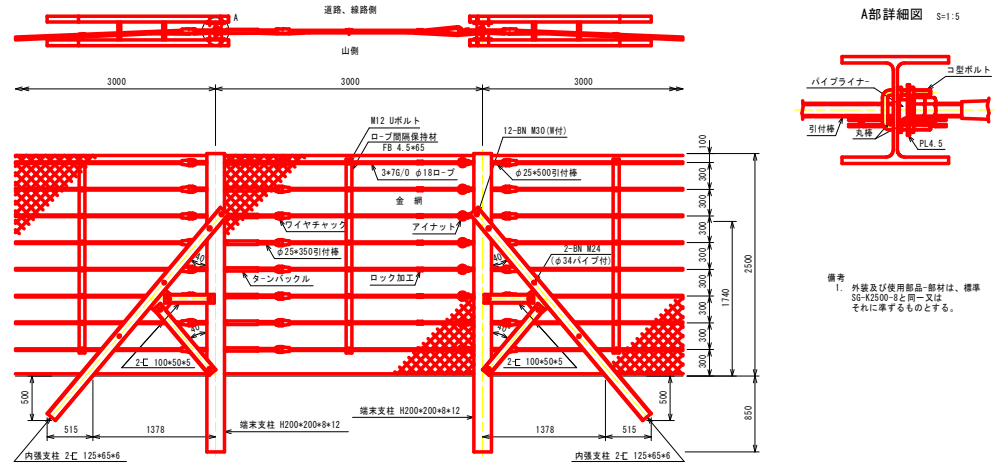
注記  
-本図の最少コーナ角度は橋長さ30mで算出しています。橋長さが短くなれば落石時のロープ張力は大きくなり、最少コーナ角度は変わります。

**参考図面**

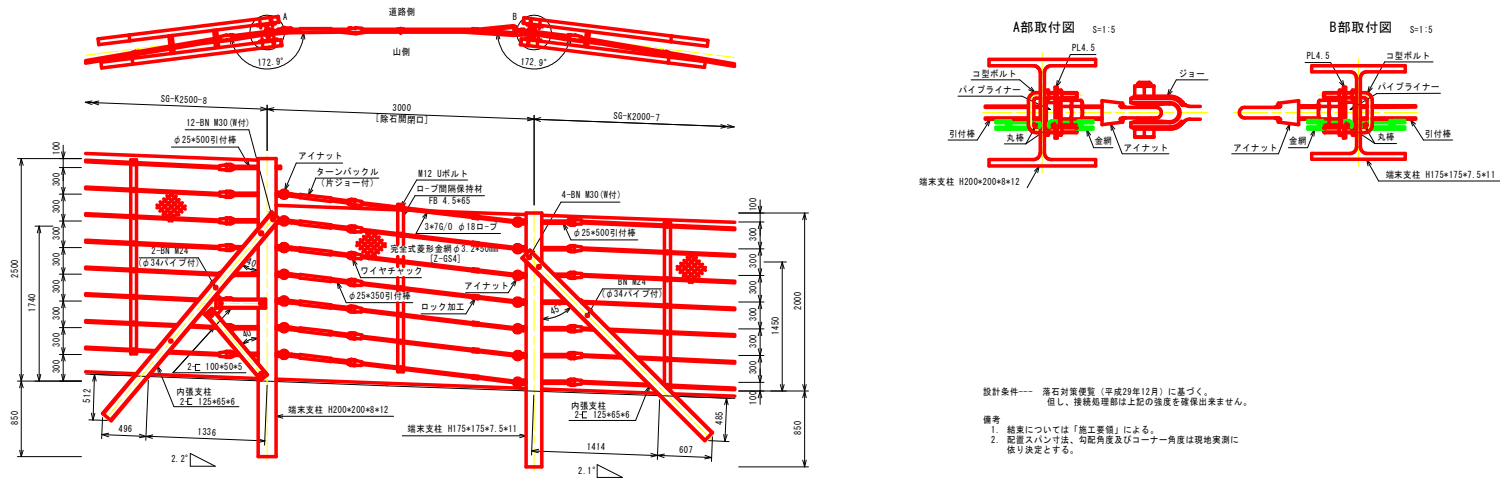
工事名	R7三土 銀治屋敷急傾斜 東・西住 斜面対策工事		
路線名等	銀治屋敷急傾斜面崩落危険区域		
工事箇所	三好郡東みよし町西住		
図面名	落石防護柵 参考図(1)		
縮尺	図示	図面番号	1/2
会社名			

## 落石防護柵 参考図(2)

擁壁用ストーンガード(除石開閉口) H=2500 S=1:30



ストーンガード H2500~2000 接続部 S=1:30



設計条件―― 落石対策便覧（平成29年12月）に基づく。  
但し、接続処理部は上記の強度を確保出来ません。

備考

1. 結束については「施工要領」による。
2. 配置スパン寸法、勾配角度及びコーナー角度は現地実測に依り決定とする。

参考図面

工事名	R7三土 銀治屋敷急傾斜 東・西趾 斜面対策工事		
路線名等	銀治屋敷急傾斜地崩落危険区域		
工事箇所	三好郡東よし町西趾		
図面名	落石防護 参考図 (2)		
縮尺	図示	図面番号	2/2
会社名			
事業者名	徳島県西部総合防災民泊士整備局 (三好)		